

Culture of 鷹巢

第1号

私たちは、2023年6月7日から9日までの3日間鷹巢の伝統文化の継承のヒントを得るために、東京方面に修学旅行に行き来しました。修学旅行の日程について紹介します。

1日目

東京に到着してから、2班に分かれて職場訪問に向かいました。1つの班は、旅行会社JTBに。もう一方の班は、東京証券取引所に向かいました。

JTBでは、主にスポーツマーケティング事業部について学びました。この事業部では、WC(ワールドカップ)やWBC(ワールドベースボールクラシック)の支援なども行っていたそうです。また、国体、インターハイなどの選手のバスの手配なども行っているそうです。

東京証券では、様々な企業との株の取引について学びました。例えば、チッカーという電光掲示板には、現在の株の取引情報などがリアルタイムで詳しく載っていました。

2日目

2日目は、3班に分かれて班別活動に行きました。

1班：東京スカイツリー、ハコア(福井から出店している木製雑貨店)

2班：浅草寺、金子めがね(福井から発注されている眼鏡)

3班：アンテナショップ(福井の特産物が置いてある店)

班別活動では、福井の伝統文化をPRするためにInstagramで情報を発信する、などのヒントを見つけることができました。



チッカー

アンケート結果

最終日は、上野公園で伝統文化についてのアンケートを配りました。そのアンケート結果を紹介します。

1つ目の質問は、「伝統文化に興味はあるか」です。私たちは、東京の人は伝統文化に興味を持っている人は少ないと考えていました。しかし、回答者のうち3分の2以上が伝統文化に興味を持っている、と回答していました。

2つ目の質問は、「伝統文化に興味をもったきっかけは何か」です。主な3つの回答を紹介します。1つ目は、「学校で学んだから」。2つ目は、「ドラマや小説の聖地としてでてきたから」。3つ目は、「地元に戻ってきて再認識したから」です。

3つ目の質問は、「伝統文化の魅力は何か」です。主な3つの回答を紹介します。1つ目は、「日本独自で、地域性が豊かに表れること」。2つ目は、「現代にはない、味を感じること」。3つ目は、「絶えることなく、受け継がれてきたこと」などです。

これらの結果から、私たちは伝統文化を受け継ぐヒントを学びました。伝統文化に興味を持っている人が多いことがわかったので、どのようにPRしていくかについて、アンケートをもとに考えていきたいです。